

編集後記

人類の祖先はアフリカで誕生し、約600万年前には直立二足歩行を始めたと言われています。二足歩行により手は歩行から解放され、両手が自由になったことで道具を使用することが可能となりました。これが脳の発達や言語の発展につながり、人類は特有の進化を遂げてきました。さらに、直立姿勢はエネルギー効率の良い長距離移動も可能としました。この移動能力の向上によって、人類は約6万年前にアフリカから、中東地域を経てユーラシア各地へと移動し、さらにはオーストラリアや日本列島、そしてベーリング地峡を経てアメリカ大陸へと広がり、各地で様々な環境に適応しながら多様な文化を形成し、現在の人類の繁栄につながっています。

しかし、二足歩行は身体的負担をももたらし、整形外科疾患の原因ともなっています。脊椎や荷重関節への重力負荷により、腰痛や椎間板ヘルニア、変形性脊椎症、変形性膝関節症などのリスクが高まります。また、重心が高いにもかかわらず支持基底面が狭いため、転倒のリスクも増加します。特に高齢者では骨脆弱性とも相まって、大腿骨近位部骨折といった生命予後に関わる外傷につながります。

7月号の特集は、本誌連載コラム「スポーツ医学 つれづれ草」をご執筆されている武藤芳照先生ご企画の「転倒予防最前線」です。特集タイトルには未だ発展途上であるこの分野への期待が込められているととも

に、多岐にわたる視点から転倒予防へのアプローチが提示されています。萩野 浩先生は、「高齢者の転倒・骨折の動向」の項で、地域在住高齢者は高く見積もると年間4人に1人が転倒し、さらに2007年生まれの半数が107歳よりも長く生きるという衝撃の予測についても述べられています。現在でも高齢労働者は増えていますが、未来の労働現場は、今以上に高齢者で占められることになるでしょう。労災事故というと転落や交通事故などの重大事故が思い浮かびますが、本特集にもあるように、これからは転倒予防対策が必須になってきます。日々の診療で転倒による骨折や外傷に直面するわれわれ整形外科医にとって、転倒予防はまさに喫緊の課題であり、深く考えさせられる内容です。

転倒予防は一朝一夕で解決するものではありません。加藤豊範先生は、「If you want to go fast, go alone; if you want to go far, go together」というアフリカの諺を紹介されています。人類の祖先がアフリカから各地に移動する際にこの言葉はなかったと思いますが、転倒予防には多職種連携による総合的なアプローチが不可欠です。本特集が、読者の皆様にとって転倒予防の新たな知見と実践のヒントとなることを期待しております。

(石橋恭之)

「整形・災害外科」第68巻 第8号 (7月号) 2025年7月1日発行 (毎月1回1日発行) 定価 3,080 円 (本体 2,800 円+税 10%) 年間購読料金 定価 47,960 円 (本体 43,600 円+税 10%) [年間13冊 (臨時増刊号, 増大号を含む) の誌代] [年間予約購読者に限り送料無料]	発行所 金原出版株式会社 発行者 福村直樹 〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14 TEL 03 (3811) 7165 [編集室直通] TEL 03 (3811) 7184 [営業部直通] FAX 03 (3813) 0288 www.kanehara-shuppan.co.jp 振替口座 00130-1-191269 印刷所 三報社印刷株式会社 広告申込先 (株) 文京メディカル TEL 03(3817)8036
---	--

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。